プトの曆法で，一年を365日とする標準曆は，マクノートン氏は比較的後代のことだとしてゐるが，之れは怪しい．むしろ，エジプトの第五第六王朝時代に此の曆法の記載があり，又，第6王朝の Pepi 第二世のピラミド文書中にも明瞭に5祭日の記錄がある．多くのエジプト學者は，此の365ケ日の標準曆法を，むしろ王朝以前と見てゐる．

尙ほ，今後，どんな意見が同誌上に發表されるか，判らないけれど，しかし，大體に於いて，"天秤星座"なるものは，バロビン以來，永く"蝎座"の一部のやうに取り扱はれ，獨立したのは比較的後代であることだけは疑ひないやうである．

上に書いたエジプトの"トレミー王朝"といふのは，紀元前323年にアレキサンダ大王が死して後に起つた Ptolemy 第一世 (Soter) 以後，クレオパトラ女王(前30年死)に至るまで，前後293ケ年間を言ふのであるが，此の間に15代の王が交代してゐる．天文史上には，ギリシヤ天文學の完成者として Claudius Ptolemy といふ大學者があるが，之れとエジプト王とは別人である．尙ほ，このトレミー王朝の人物中，多少でも天文に關連するのは，トレミー第三世 (Euergetes, 紀元前246—221年治世) の王妃 Berenice であらう．今も尙ほ吾々が用ゐてゐる星座の中に Coma Berenices (ベレニスの髮) といふのがあるが，之れは王妃ベレニスがトレミー王のシリヤ遠征の戰勝を神かけて祈つて，Zephyrium の Arsinoë Aphrodite 神に記念として捧げた髮であると傳へられ，神殿中から此の髮が盜まれたので，サモス島の天文學者 Conon が，天空を指して，星座中に此の"髮"を見出したといふことになつてゐる．

黃道に12ケ月の星座が列ぶやうになつた以前に，只の6ケの星座がバロビンによつて認められてゐたことが一般に信ぜられてゐる．其れは，"牛"と"蟹"と"乙女"と"蝎"と"山羊"と"魚"とであつたといふ．

---

## 歐州戰亂中の天文學

戰爭のため，書物や研究報告書は來ないし，諸所の學會も休日の狀態である．只，今日，觀測をし得る微妙な地位にあるのは(日本やアメリカのほかは)，ベルギーと，ロシヤと，イタリヤのみといふ有樣に，初めの間は見えた．しかるに，戰爭も半年たつて，激しい戰鬪が國內に展開しない樣子に多少安心したものか？ドイツあたりでも，やはり可なり良い觀測や研究をやつてゐるし，諸報告や，書物なども出してゐる．英佛あたりも亦此の點に於いて負けてゐない．不思議と言へば，不思議な戰爭である．